

# 伝統的な佐原の町並み

佐原の町は、江戸時代からさかえきた場所で、小野川から利根川を通じて、江戸へコメなどの物産を運び、また江戸から商品を仕入れてきました。そのため、多くのお店や酒や醤油を製造する屋敷がありました。今でも佐原の町には、江戸時代や明治時代に建てられた、お店や土蔵がたくさん残っています。

忠敬橋のある街道沿いには、正文堂（もと本屋）、小堀屋（そば屋）、福新呉服店、中村屋乾物店、もと三菱銀行佐原支店、また、小野川沿いには正上（もと醤油の製造業）、油惣商店（もとはお酒などの製造業）、忠敬橋のたもとには中村屋商店などの古からの建物が建っています。伊能忠敬の旧宅も小野川沿いにあります。

## 見どころ

### だし

小野川には「だし」と呼ばれる階段状の船着き場も残っています。大正時代小野川の石垣を直した時に、多くの「だし」がなくなったり、位置が変わったりしましたが、昔はお店ごとにたくさんのだしがありました。



### 樋橋ジャージャー橋

伊能家の旧宅中には、江戸時代につくられた農業用水路の一部が残っていて、その先に樋橋がかかっています。ここを流れた水が小野川に落ちて、ジャージャーと音がしたことから、この橋は通称「ジャージャー橋」と呼ばれています。現在は、30分ごとに水が流れるようになっています。



# 佐原の大祭

佐原では、夏と秋に大きな山車をひきまわす大祭が有名です。町の中央を流れる小野川を境にして、東側の10町内を本宿といい、西側の15町内を新宿といいます。佐原の祭りは、江戸時代の頃から行われ、今は、本宿では7月中旬ごろに八坂神社の祇園祭、新宿では10月中旬ごろに諏訪神社の大祭が行われます。各町内が人形など飾りつけをした大きな山車を、下座連が演奏する佐原囃子のにせてひきまわします。本宿の祭りでは10台、新宿の祭りでは14台の山車がです。山車より大きさは違いますが、本体の高さは約4mで、その上に飾り物をしています。鯉や鷹などの薬細工もありますが、神話や歴史上の人物の大人形が多く、山車本体と合わせると全体で9m近くの大きくなるものもあります。八坂神社境内にある山車会館には、このうちの2台が展示されています。佐原の山車行事は平成28年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。



2

# 日本地図をつくった伊能忠敬

伊能忠敬は、江戸時代に日本全国を測量して歩き回り、正確な日本地図を完成させた人です。延享2年（1745年）に九十九里で生まれ、17歳の頃に佐原の伊能家にむこに入り、商売にも熱心にとりくみ、また、佐原村の村役人としても力をつくしました。50歳になると隠居して家を息子にゆずり、江戸（今の東京）に出て、高橋至時先生のもとで、西洋の天文学などの新しい学問を学びました。



忠敬55歳の頃、全国の測量をはじめ、71歳までの間、17年の間、10回にわたって、日本全国を歩いて測量しました。

忠敬は、73歳で亡くなりますが、日本地図はその3年後に完成しました。『大日本沿海輿地全図』といいます。日本全国を分割して描いたもので、大図214枚、中図8枚、小図3枚があります。この地図は、たいへん正確なもので、ヨーロッパでも高く評価されました。



## 【伊能忠敬旧宅】

伊能家は、佐原村の村役人をつとめる家からで、酒造りや米の売買などを営む、佐原でも有力な商家でした。その旧宅には、当時のお店と正門、その奥に続く炊事場と書院、さらに土蔵が、国の史跡として残されています。

## 【伊能忠敬関係資料】

現在、伊能忠敬がつくった地図やその関係する資料など2,345点は、日本にとってたいへん貴重な文化財として、平成22年に国宝となりました。伊能忠敬記念館で保管され、展示されています。

### 【測量器具】



わなか羅針 方向を調べる



象限儀 天体観測をする

3

# 下総の国の一宮 香取神宮

香取神宮は、古い時代から下総の国の一宮として、広い地域の人々から尊敬されてきました。茨城県にある鹿島神宮とともに、東国の武神として信仰されていて、経律主神といわれる神様をおまつりしています。



香取神宮の社殿

香取神宮がある丘は、「亀山」と呼ばれています。亀の中羅に似ていることからその名があるとも言われます。香取神宮から北に少し離れた利根川に津宮といふところは、現在も木製の大きな浜鳥居が建てられています。12年に一度、午年に行われる式年神幸祭という大きな祭礼では、二日間をかけて、ここから神輿を船にのせて利根川をさかのぼって佐原の町をまわり、また香取神宮へ戻ってきます。

## 見どころ

### 本殿・楼門

現在の香取神宮の神様をまつる本殿と朱塗りの楼門は、元禄13年（1700年）に徳川幕府により建てられたものです。この他にも古い建物などがいくつも残されています。



楼門

### 海獣葡萄鏡

貴重な神宝も多く、「海獣葡萄鏡」という古代の大きな鏡は、中国からもたらされたもので、日本国内でも貴重な文化財として国宝になっています。鏡の裏面には葡萄の模様や、獅子や鹿などがデザインされています。



国宝・海獣葡萄鏡

### 要石

境内にある要石、古くからこの地方に地震が起きるのは、地中にある大なまが暴れるため、香取、鹿島の神様がその頭と尾を押しさへつけるために要石を置いたという伝説があります。



要石

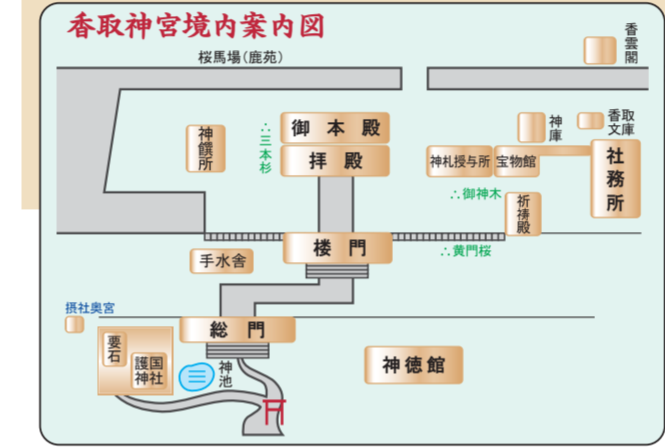
### 津宮の常夜燈

津宮の大鳥居近くにある常夜燈です。江戸時代に利根川を行き来する船の目印として、火がともされてきました。



津宮の常夜燈

4



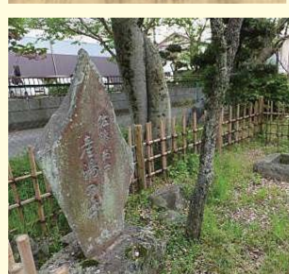
5

# 日本の近代医学の中心人物 佐藤尚中

佐藤尚中は、文政10年（1827）に小見川藩の医者である山口家の次男として生まれました。医者になるため、11歳で江戸に出て安藤文沢という先生に医学を学びました。天保13年（1842）、16歳の時、佐藤泰然という先生の「和田塾」に入門しました。佐藤泰然は佐倉藩にまねかれて、西洋医学を教える順天堂を佐倉に開きましたが、尚中はそこで実力を認められて、佐藤泰然の養子となり、佐藤尚中を名乗るようになりました。万延元年（1860）から約1年間、長崎で西洋医学を学びましたが、先生であるオランダ人から「日本に尚中のような優れた医者がいることは驚きだ」と称賛されました。



明治6年に私立の順天堂病院を東京に開きますが、これが後に発展し順天堂大学となりました。明治15年（1882）、56歳で亡くなりました。佐藤尚中の生まれた場所は、現在内浜公園となっています。公園の中には、誕生地の記念碑や、佐藤尚中産湯の井戸が残されています。



## 見どころ

### 初代松本幸四郎の墓

小見川の善光寺には、現在歌舞伎で有名な松本幸四郎の初代の墓があります。小見川の島田家の出身で、2代目の市川團十郎とともに江戸の歌舞伎の名優といわれています。



### 谷屋呉服店

黒部川近くの街道ぞいに立つ呉服店で、お店は江戸時代の終わりころ、嘉永元年（1848年）です。土蔵は明治初めころのもので、現在は蓼紫美術館として染色製品を展示しています。



6



## その他の見どころ

### 小見川城山公園

中世の豪族栗原氏の城が築かれたところで、今でも本丸跡の一部残っています。古代の古墳群もあります。公園の入口横には、石を積んで造った洞穴のようなものがあります。これは、城山1号古墳の横穴式石室を復元したものです。



### 香取市文化財保存館

県指定文化財「城山1号墳出土品」のほか市内各所から出土した考古遺物を展示しています。城山1号墳とは、小見川高校が移転する時に発見された全長68mの前方後円墳で、そこから出土した装身具・武器や馬具、埴輪などを展示しています。



（香取市役所小見川支所・小見川市民センターいぶき館2階）

7

# 日本遺産認定

# 佐原・香取学習ガイドマップ



# 千葉県香取市

小学校	年	組	氏名
-----	---	---	----

# 佐原・香取の成り立ち

香取市は、平成18年3月27日に、もとの佐原市、小見川町、山田町、栗源町が合併して、誕生しました。千葉県の北東部にあり、茨城県と接しています。北部の利根川流域は水郷とよばれ、豊かな田園地帯が広がっています。南部は台地となっていて、山林や畑を中心とした平らな地形となっています。



利根川の流れば、今とはちがっていて、古い時代は江戸湾（東京湾）へ注いでいました。江戸時代の初めに大きな工事を行い、東の方向へ流れを変え、現在のように銚子で太平洋にそそぐようになりました。そして、川を通じて江戸とのつながりができて、人や物を船で運ぶ水運が発達しました。これにより、佐原や小見川は、年貢米や農産物などを運び出す河岸としてさかえ、また酒や醤油の製造業なども発展しました。佐原は「お江戸みたくりや佐原へござれ佐原本町江戸まさり」といわれるほどのにぎわいがありました。

人の往来もさかんになり、文化や芸術の発展にもつながりました。日本地図を作った伊能忠敬や近代医学に貢献した佐藤尚中、歌舞伎の初代松本幸四郎などの人物もでています。香取市にはこのような歴史や文化を感じさせる遺産がたくさんあります。

## 【香取市のデータ】

面積 262.35 平方 km  
人口 79,174 人  
男 39,266 人  
女 39,908 人  
(平成28年10月1日現在)



市の花 アヤメ



市の木 サクラ



市の鳥 ヨシキリ

●日本遺産の認定  
香取市は平成28年4月25日、佐倉市・成田市・銚子市とともに、日本遺産に認定されました。「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み－佐倉・成田・佐原・銚子：百万都市江戸を支えた江戸近郊の四つの代表的町並み群－」

1



# 佐原見どころマップ



伊能忠敬銅像 (佐原公園内)



旧油惣商店



福新呉服店



小堀屋



正文堂



中村屋商店



象限儀のオブジェ (伊能忠敬記念館裏)



小野川のだし



正上



三菱館



中村屋乾物店



伊能忠敬旧宅 店舗



伊能忠敬旧宅 書院



伊能忠敬旧宅 土蔵



榑橋 (ジャージャー橋)



伊能忠敬像 (伊能忠敬旧宅内)

## 秋祭り (新宿地区) 10月第2土曜日を中日とする金・土・日曜日



## 夏祭り (本宿地区) 7月10日以降の金・土・日曜日

